

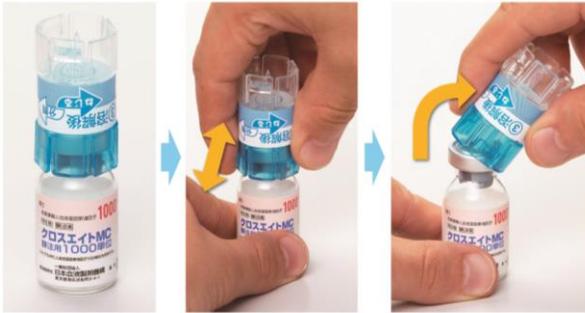
「クロスエイトMCを使用される方へ」

クロスエイトMCの溶解液が製剤ビンに流入しない場合の対処法について

＜溶解移注針を誤って初めに製剤ビンに刺したため、注射水の移行ができなくなった場合等の対処法＞

一般社団法人
JB 日本血液製剤機構

1 製剤ビンに刺した溶解移注針をはずします。溶解移注針を軽く引っ張りながら傾けると製剤ビンからはずれずれます。



3 シリンジ内に5mLの空気を入れます。



※2000国際単位製剤では10mLの空気を入れます。

＜注射用水が移行しない原因＞

クロスエイトMCの溶解操作では、製剤ビン（真空：陰圧）と注射用水ビン（大気圧）の圧力差によって注射用水が製剤ビンに移行します。誤って製剤ビンに溶解移注針を先に刺した場合など、空気が製剤ビンに入り、製剤ビンの陰圧が大気圧に戻ってしまいます。このため、後から注射用水ピンを刺しても、注射用水は製剤ビンに移行しません。

〔事例〕



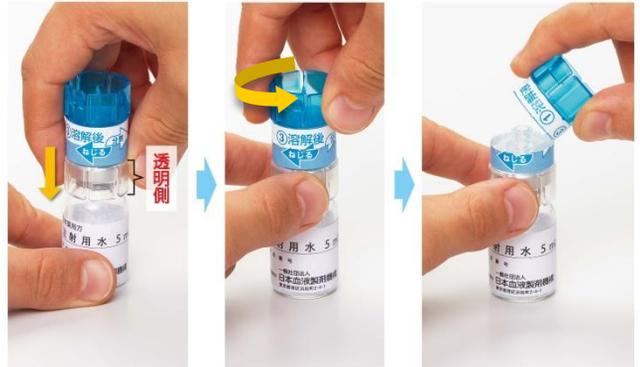
＜対処法の概要＞

溶解移注針を使って注射用水ビン内の注射用水をシリンジに移し、製剤ビンに注射用水を注入する。

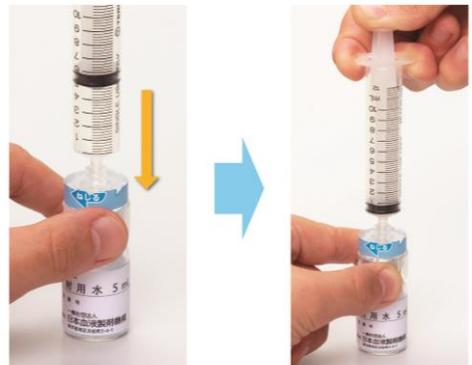
（シリンジは、溶解後そのまま注射用として使用します。）

※1000国際単位製剤を例として紹介します。

2 次に、溶解移注針の透明側の先端を注射用水ビンの口部に当て、押し込みます。注射用水ピンを下にしたまま、溶解移注針の上下を持って反時計周りにひねり、溶解移注針の中央部分から切り離します。



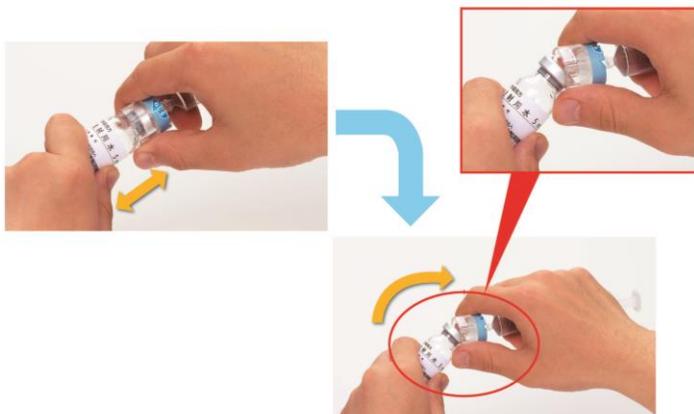
4 差込口にシリンジをしっかりと取付け、シリンジの中の空気をすべて注射用水ビンに入れます。



5 注射用水ビンを上にとすると、注射用水がシリンジに入ってきます。ゆっくり引いてシリンジに注射用水をすべて抜き取ります。



6 シリンジを差込口に取付けたまま、溶解移注針を注射用水ビンから取りはずします。溶解移注針を軽く引っ張りながら傾けると注射用水ビンからはずれます。



7 注射用水ビンから取りはずした溶解移注針を製剤ビンの口部に当て、押し込みます。



8 製剤ビンを上にして、ビン内の空気5mLをシリンジ内に吸い取ります。



9 製剤ビンを下にとすると、注射用水が製剤ビンに移ります。(シリンジに注射用水が残った場合は、内筒を押し下して注射用水を全て移行させてください。)



10 注射用水が完全に製剤ビンに移ったら、液を泡立たないように注意しながら、ゆっくりと円を描くように製剤ビン回して薬を溶かします。



その後は「輸注セット使用方法説明書」に従って、シリンジに薬液を吸引し、翼付静注針をつけます。